

平成 2 8 年 度 事 業 報 告 書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

当社団では、2006 年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方を広めていながら、「社会の課題を解決していこう」と挑戦されている方、これから挑戦しようとしている方の事業を応援するために、そうした挑戦者を応援したいとお考えの方々から資金をお預かりし、その基金からの出資と経営のアドバイスを行います。今年度は、特にみんなの夢 AWARD との連携を図りながら、ソーシャルビジネスに挑戦しようとしている人（出資を希望しているの方々）たちを応援していきます。下記、本年度の当事業年度の計画です。

(1) 当事業年度の計画

イベント企画への参加、セミナー／シンポジウムへの参加など積極的に活動を展開していきます。

■みんなの夢 AWARD 7 共催として実施

みんなの夢 AWARD 7 に（主催？共催）として参加します。「みんなの夢 AWARD」は、社会の課題を解決し、みんなをワクワクさせ、みんなが夢をもちたくなるすてきな夢に贈られるアワードであり、夢アワードのプレゼンターは協賛企業からのサポートを得ることができる仕組みとなっています。このような仕組みで、社会の課題を解決する事業に挑戦する社会起業家を応援することを目的としています。当社団では、「ソーシャルビジネス」の事業資金として最大 2,000 万円を支援していく予定です。

【みんなの夢 AWARD 7 開催概要】

日時：平成 29 年 2 月 20 日（月）

共催：一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

主催：公益財団法人みんなの夢をかなえる会他

会場：舞浜アンフィシアター

参加者：2,200 人

■ソーシャルビジネス起業塾の受託

友好団体 公益財団法人みんなの夢をかなえる会へ寄付し、ソーシャルビジネス起業塾を受託します。このプログラムとして、ユヌス・ソーシャルビジネスのカリキュラムも行き、ソーシャルビジネスの起業家を拡大していきます。

（当期は、0期生として募集をし、集中講座を実施し、この受講生の中から、みんなの夢 AWARD7 グランプリの麻植有希子さんを輩出しております。

■ソーシャルビジネスセミナーの実施

企業が学生に対しキャリア教育を提供する友好団体との連携により、「ユヌス・ソーシャルビジネス」のワークショップを通じて、ソーシャルビジネスを理解し、具体的なソーシャルビジネスモデルを構築する講座を開催します。

2017年度は、1月7日(土)にみんなの夢 AWARD7 ファイナリストに、ソーシャルビジネスの講義、並びに、みんなの夢 AWARD7 に向けて、ソーシャル・ビジネスの起業についてのワークショップを開催。みんなの夢 AWARD7 ソーシャルビジネス賞を受賞した折に、各々がソーシャルビジネスを起業する為の事業計画書を作成しました。

(2) 出資に関して

山本亮さん、麻植由希子さん等、みんなの夢 AWARD7 のファイナリストが出資を希望するソーシャルビジネス会社を検討します。

みんなの夢 AWARD7 からエントリー候補を模索

ユヌス氏の提唱する「ソーシャルビジネス」の考え方に沿う事業に対しての「出資」の検討を行っていきます。事務局、専門家からのアドバイスのもと、出資希望者からの面談を行っていきます。当団体が主催する、みんなの夢 AWARD7 のファイナリストの中よりソーシャルビジネス候補を選定します。

年度 1 社の出資を計画。

金額は、最大 2000 万円

(3) 出資先の経営参画

現在3社に出資しています。段階的に、ソーシャルビジネスの株主構成についても進化させています。一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ1号となった、Japan Aqua Enterpriseは、ほぼ100%に出資してソーシャルビジネス会社を設立しています。2社目となった、(株)Prima Pinguinoについては、株主構成90%を出資し、社長の藤岡氏と既存の株主にも一部出資をしています。3社目の(株)リンクリンクについては、1200万円の資本金のうち、1000万円を同ファンドから、社長と取締役それぞれ100万円から出資している。このように、当団体の株主出資だけでなく、なるべく多くの株主にソーシャルビジネスの株主として参加を募り、一人でも多くのステークホルダーに参画して頂くようにしていきたい。

①Japan Aqua Enterprise

今後の事業方針 JAEの本来の事業である、バングラディッシュ農村地区に飲料水提供事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、JICAの支援の下、展開する。また事業が進み、新たにBtoB事業として、自転車搭載型浄水装置を使って、農村地区に出前ビジネスとして展開する。新たに、海水を飲料水にする為の人力海水淡水化装置に投資する。バングラディッシュのテロ事件以降、事業が止まっている。

代表取締役会長：勝浦 雄一

取締役：中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

取締役：小田剛士（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 監事）

1. Japan Aqua Enterprise (JAE) 社の目指す今後の方向性

これまでのバ国での喫茶事業展開を中断して、JAE社の本来の目標である「バ国の農村部における100万人への安全・安心な水供給を目指す」事業展開に方向転換をはかる。具体的には、JAE社を日本ベーシック（NBC）社の主力製品である自転車搭載型浄水装置Cycloclean(CC)のバ国における製造販売の拠点と位置付ける。

2. JAE社のCC組立事業：NBCの技術指導を受けているバ国企業を外注先として活用しCCの組立事業を展開する。現地自転車組立会社やフィルター販売などの水処

理会社との提携関係も強化し事業領域を拡大する。

3. JAE社のCCの販売事業：主要販売チャネルとして次の2チャネルを想定している。

①NBCを通じてのJICAのODA事業向け

②JAEからのバ国内でのBtoBとしての、GrameenやBrac等のNGO向け

NBCが日本で開発中の人力海水淡水化装置のバ国での輸入販売も視野にいれる。

4. BtoBの具体的展開策：CCを「移動式小規模分散型浄水場」と位置付け、「出前式浄水場」を運営面でNGOと提携し、バ国に於ける最大の課題である「水汲みと言う女性にとっての重労働」からの解放を目指す。

5. Grameen Veoliaとの提携：Grameenグループのソーシャルビジネス会社Grameen Veolia社の固定式管路給水事業で目指す10万人給水（管路給水である為10Kmの範囲しか給水できない）の補完する形で提携を目指す。10Km以遠の農村住民に対し、CCで出前式浄水場を派遣することで管路の届かない住民に安全で安心な水を販売するもの。

① (株)Prima Pinguino

プロジェクト：統廃合の危機にある離島中山間、地域の高校魅力化を通じた地域の活性化プロジェクト

代表取締役：藤岡 慎二（ふじおか・しんじ）

取締役：中川直洋（一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 理事）

課題：離島中山間地域は人口減少に伴い少子高齢化している。少子化で高校の生徒数は減少し離島中山間地域の高校ほど統廃合の危機に瀕している。

目標：高校が魅力化することで、統廃合の対象だった高校が、生徒数が安定し、離島中山間地域も高校を中心に活性化されている。

事業概要：少子化が進む離島中山間地域の高校の魅力化を通じて、地域の活性化を図る。

高校の魅力化は①新感覚の寮生活、②高校の授業内容の変更、③公営塾の設立・運営を通じて実施する。生徒は地域内だけでなく、全国や海外から生徒を募集する。

出資金額：1,000万円

【当期】魅力化プロジェクトの学校が10校と大幅に拡大し、事業として成功をおさめた。利益も確保し、3期連続で配当が出る予定。

起業塾の受託事業として、ソーシャルビジネス起業など、展開する。

既存県立高校魅力化プロジェクトについて

- ①島根県立隠岐島前高校魅力化プロジェクト
- ②沖縄県立久米島高校魅力化プロジェクト
- ③大阪府立能勢高校魅力化プロジェクト
- ④北海道羽幌町立天売高校魅力化プロジェクト
- ⑤広島県立大崎海星高校魅力化プロジェクト
- ⑥長野県立白馬高校魅力化プロジェクト

既存県立高校魅力化プロジェクトについて

- ⑦新潟県立阿賀黎明高校魅力化プロジェクト
- ⑧沖縄県立北山高校魅力化プロジェクト
- ⑨鹿児島県立屋久島高校魅力化プロジェクト
- ⑩熊本県立甲佐高校魅力化プロジェクト
- ⑪福島県立只見高校魅力化プロジェクト

(株)リンクリンク

プロジェクト：“職・食・住”日本初シングルマザーをトータルで支援する。

～一人でも多くのシングルマザーの「子ども達」に夢と希望の未来を！！

代表取締役：大津たまみ

取締役 大地則幸（株）スマートライフ社長）

中川直洋（一社ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ 専務理事）

課題：現在全国にシングルマザーは100万人以上おり、その世帯年収は一般家庭の世帯年収の3分の1以下と言われております。子どもの成長期にシングルマザーの子どもは一人で過ごす時間が多いため、家庭内での会話をする時間も少なく社会とのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会が少なく、その結果、一人親の元で育った子どもの犯罪

率が高いという悲しい現実があります。家庭の中に大人が一人だけだと、子どもに出来ることも限られてしまい、シングルマザーの子どもの生活の安心安全の向上には、シングルマザーの経済的な自立が必須であります。

資本金 1,200 万円※出資金額：1,000 万円

目標：今期、名古屋 2 ホーム、関東 1 ホームを開設。中期（2021 年）、名古屋 15 ホーム、関東 10 ホーム、沖縄 5 ホームを開設し、長期 2026 年では、全国で 100 ホームを目指します。2026 年時の目標（シングルマザーハウス 100 ホーム開設、シングルマザーへの支援人数 登録者数 15 万人 シングルマザーへの就業斡旋(パート含む) 900 人、サポート企業 200 社 売上 5 億 2 千万円)

事業概要：親が貧困だと子も貧困状態になるという現実を解決すべく、職（仕事）・食（食育）・住（住環境）の支援を行います。

- ・シェアハウス事業(シングルマザー向けシェアハウス運営)
- ・シェアタイム事業(シングルマザー・シングルファザー・プレシングルマザー(予備軍)への家事支援子育て支援・物品支援・経済支援)
- ・自立支援事業（シングルマザー就業支援・自立教育） シングルマザーへの教育

（４）視察（ムハマドユヌス博士と会合）

みんなの夢 AWARD 7 の招聘の依頼と、日本におけるファンド会社の説明、出資企業の事業紹介。またダッカ市内でソーシャルビジネスを検討している事業者と面談。

（５）共催するみんなの夢 AWARD 7 で、ムハマドユヌス博士を招聘

2017 年 2 月 20 日(月)に開催した「みんなの夢 AWARD 7」で、ムハマド・ユヌス氏のスピーチを実施。参加した 2,200 名に、ソーシャルビジネスの起業についてスピーチ。観衆から大称賛を得て反響を得ました。

(6) 協カクレジットとして、ソーシャルビジネスジャパンフォーラム開催

2017年2月21日(火)に開催した「ソーシャルビジネスジャパンフォーラム」にて、ムハマド・ユヌス氏を招聘し、代表理事の渡邊美樹氏のスピーチ、専務理事の中川直洋の現状のファンドの説明、出資先の(株)Prima Pinguinoの藤岡慎二氏よりプレゼンを実施。当団体の意義を説明し500名にも及ぶ観衆から反響を得ました。

(7) その他 法人サポーター制度に関して

当社団の活動の主旨に賛同していただいた方に、ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズの法人サポーター（協賛）になっていただき、下記の区分により会費を頂きます

・法人サポーターについて 会費（年額） 50,000円

・募集体制：募集方法は、人的ネットワーク、公式HPなどを通じて法人の協賛を行っていきます。

■法人サポーターを募集しました。共催イベント「みんなの夢AWARD7」の協賛社にお声かけを行い、法人サポーターを募集し、16社の応募・協賛がありました。協賛して頂いた企業のロゴマークを、ホームページ、広告などで露出致しました。

【平成29年度・法人サポーター】 16社

アサヒビール株式会社、石坂産業株式会社、株式会社インテリジェンス、カゴメ株式会社、株式会社カヤック、キューピー株式会社、サントリービア&スピリッツ株式会社、三陽物産株式会社、昭和リース株式会社、株式会社スマートライフ、野村證券株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、ピーアークホールディングス株式会社、福島工業株式会社、株式会社レイメイ藤井、ワタミ株式会社

以上